

談話室 ひこばえ倶楽部

産経新聞 令和2年(2020年)3月23日(月)

小さな幸せ糧に さあ社会人

大学生 唐田葉月 22

今春から社会人になる。
正直働きたくないという気
持ちが、すごく強い。

これまでの生活は、昼
ぎに起きて、タラタラ過
す。ゲームをし、お菓子を
食べ、好きなときに寝る。

このまま一生続けばいい
なとさえ思う。4月から
は、今までの生活からは想
像できない多忙な日々が始
まるだろう。考えただけで
ため息が出てしまう。学生
生活は、終わりがたくないほ
ど、本当に楽しく過ごせた
からだ。

そこで今の楽しい生活だ
けを考えるようにした。
「今晚のごはんは何かな」
と思いながら帰宅するとき
は、幸せな気分になる。

自分が楽しく、幸せにな
る時間を、少しでもいいか
ら見つけていこう。そう思
うと、なんとか社会人生活
も、やっていけそうな気が
してきた。

友達と家族を大切にしな
がら、気楽にのんびりと、
新生活をスタートしようと
思っている。

(大阪府東大阪市)

※無断転載不可